

令和2年 第2回（3月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

3月17日（火）			
質問者			
通告第 1号	10番	降旗 聡	
通告第 2号	14番	五十嵐惠千子	
通告第 3号	15番	大泉 日出男	
通告第 4号	5番	林 美希	
通告第 5号	3番	稲葉 剛治	
通告第 6号	16番	赤出川 義夫	

3月18日（水）			
質問者			
通告第 7号	8番	雪田 きよみ	
通告第 8号	7番	飯島 正義	
通告第 9号	11番	伊藤 正勝	
通告第10号	2番	稲垣 茂行	
通告第11号	6番	遠藤 義法	

3月19日（木）			
質問者			
通告第12号	9番	成本 直寛	
通告第13号	16番	吉川 敏幸	
通告第14号	1番	岩田 京子	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 10番 降旗 聡	治水対策の推進について	<p>第5次総合振興計画後期基本計画の総合的な治水対策の推進では、「大雨による河川の氾濫や浸水被害が発生しないまちをめざします」と、施策の目標としています。また、施策指標・目標指針として浸水被害の軽減についてはH27年度（基準年）56.4%に対し、R3年度には70%の目標値を掲げています。</p> <p>浸水（内水）対策については、多くの方が意識を持っているところであり、市としても喫緊の課題だと認識していることと思います。</p> <p>そこで、以下について市の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 総合治水計画が本年1月に白紙とされたとのことですが、これまでの経過と課題、今後の進め方について。 2) 吉川駅北口地域・南中学校周辺地域（栄町・保・中野）の治水対策として、大規模な調節池の設置が、事業費や工期の面でも、大変有効であると考えますが、市の考えについては。 	市長 都市整備部長
	充実した公共交通網の整備について	<p>第5次総合振興計画後期基本計画の充実した公共交通網の整備では、「市民が都市間の移動をしやすくなることをめざします」、「だれもが公共交通機関を利用して、行きたいときに行きたい場所へ移動する機会が得られることをめざします」、「市民が公共交通機関を利用しやすい環境づくりをめざします」と、3つの施策目標が掲げられています。また、施策指標・目標指針として公共交通の充実に対する満足度についてはH28年度（基準年）42.6%に対し、R3年度には50%の目標値を掲げています。さらに、関連する市民・地域等の取り組みでは、「公共交通機関の積極的な利用に努めます」、「交通事業者は、利用者のニーズを踏まえた必要かつ適切なサービスの提供に努めます」としています。</p> <p>市民の移動は、健康維持と地域の活性化にもつながるものであります。移動を支えるのが公共交通の重要な役割でもあります。</p> <p>そこで、市民・事業者・行政がそれぞれの課題や情報を共有して、地域の未来をみんなで描くため、仮称「地域公共交通会議」を設置してはと考えますが、市の見解を伺います。</p>	市長 政策室長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第2号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>1. 「断らない」相談窓口設置と支援導入を</p>	<p>市民の暮らしや地域の在り方が多様化している中、地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様な経路で地域社会とつながり参画することで、その生きる力や可能性を發揮できる「地域共生社会・地域の支えあい」を実現する事が求められています。</p> <p>当市におきましても高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯の増加、いわゆる 8050 世帯の増加、介護と育児のダブルケア、ひきこもりの長期化、生活困窮、など、個人や世帯が抱える課題は複合化・複雑化し、何処へ相談してよいのか判らないといったご相談をいただく事もあります。そうした事の解決策ともいえる様々な取り組みが当市の新年度施政方針にも散見できますが、肝心の相談窓口設置や支援の在り方等が明記されていませんので、以下、お伺いいたします。</p> <p>厚労省は、「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」の最終とりまとめを踏まえ、今通常国会に関連法の改正案を提出していますが、既存の制度間の縦割りを超えて、必要な経費に対して国が一括して財政支援を行える環境を整備する方針で、令和2年度予算案では、モデル事業の実施個所数を令和元年度 200 自治体から 250 自治体に増やし、今後、相談窓口は市町村内に少なくとも 1 ヶ所以上設ける意向を示しています。</p> <p>当市も「だれひとり取り残さない」SDGs の視点で地域の人々の様々な相談を受け止め、ワンストップで対応する、または関係機関につなぎ問題を解決する「断らない」相談窓口設置と支援導入を検討すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>2. HPV ワクチンは「定期接種」として接種できる権利があることの周知について</p>	<p>子宮頸がんを予防する HPV ワクチンについて、積極的な勧奨中止が続く中、ワクチン接種の存在すら知らない人が増え、将来的に患者が増えかねないという危機感が自治体で高まり、一部自治体では自体打開のため、家庭内に定期接種である事を通知する動きが進んでいます。</p> <p>HPV ワクチンは性交渉を始める前段階の接種で、より予防効果が期待できるとされ、国は平成 22 年度に公費助成を始め、25 年 4 月には小学 6 年～高校 1 年の女子を対象に計 3 回行える定期接種となりました。しかし、一部のワクチン接種者から体の痛みなどの「健康被害報告」があったことから、同年 6 月には、定期接種という位置付けには変わりなく、接種の積極的勧奨が中止となりました。</p> <p>積極的勧奨の差し控え以降、厚労省の副反応検討部会で専門家による解析が行われ、HPV</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>2. HPV ワクチンは「定期接種」として接種できる権利があることの周知について</p>	<p>ワクチン接種後の様々な症状に関して、機能的な身体症状と考えられるとされ、HPVワクチン接種歴のない方にも同様の「多様な症状」を有する方が一定数存在したことが明らかとなりました。WHOはSDGsに「子宮頸がんの死亡率を2030年までに30%減らすこと」を目標に掲げ、戦略として「HPVワクチン接種率90%」を目標としていますが、日本では、子宮頸がん患者数・死亡者数とも近年増加傾向にあります。昨年12月には、公益社団法人日本小児科医会会長名で全国の自治体首長・予防接種担当者へ「HPVワクチン接種通知についてのお願い」があったかと思いますが、当市のお考えをお聞かせください。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第2号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>3. 高齢ドライバーの交通安全対策として「サポカー補助金」の周知を</p>	<p>高齢ドライバーの交通安全対策は国全体の喫緊の課題です。そうしたことから、公明党が国において強く主張した65歳以上の高齢者を対象にサポカー（安全運転サポート車）の購入などを支援する「サポカー補助金」が2019年度補正予算に盛り込まれ、3月上旬から申請受付が始まっています。</p> <p>サポカーとは、加齢による運転技術の衰えを先進技術で補う車を言い、具体的には、歩行者などに急接近した時に自動で止まる「衝突被害軽減ブレーキ」と、誤ってアクセルを踏んだ時の急加速を防ぐ「ペダル踏み間違い急発信等抑制装置」で危険を回避し、車両や歩行者との衝突事故防止を図るものですが、高機能であるため価格が高く、買い替え需要の低い高齢ドライバーの買い替えが進んでいません。そこで、今回のサポカー補助金では、新車や中古車などの違いによって、最大10万円までを補助すると伺っていますので、以下、お伺いします。</p> <p>①吉川警察署所管内における高齢ドライバーの事故発生件数は。 ②当該事業の詳細内容は。 ③市の広報紙などで当該事業を周知し、高齢ドライバーの運転事故減少を。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第3号 15番 大泉 日出男</p>	<p>予測不能な自然災害に対する防災・減災について</p>	<p>昨年の10/12, 13に来襲した台風19号の避難勧告が発令、7ヶ所、約800人331世帯が避難を余儀なくされました。その際に災害に強いまちづくり会長として要望書を提出させていただきました、その時の4項目を含め以下ご質問致します。</p> <p>1、防災ラジオの導入について、予算的な部分で直ぐの検討までは難しいとの事でしたが、何か進展、進捗はありましたでしょうか。 2、電柱等に洪水ハザードマップは防災意識の可視化により、「浸水深」を表示する事は前向きに検討するとの市長の答弁があり、施政方針には『水害に対する危機意識醸成の為、電柱に浸水深を表示する「水害関連標識」の設置を進めると述べられています。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続) 予測不能な自然災害に対する 防災・減災について</p>	<p>具体的な設置時期、設置個所はどの様にお考えかお聞かせ下さい。</p> <p>3、避難所指定の体育館にエアコンを設置、環境改善、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）簡易型の導入ですが、予算規模的に大変な事業ではあると思いますが、どの程度までいけば方向性がつくのか、わかる範囲でお教え下さい。</p> <p>4、当市始まって以来、約800名からの避難者を避難所に受け入れることとなりました。特に中曽根小学校では約400名が避難されたと聞いております。避難訓練とは違い現実の避難者受け入れを経験したわけであります。避難受け入れの状況（避難所ごと、要支援者含め）、避難者の過ごし方、避難者の主な声、今後への課題等をお聞かせ下さい。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続) 通告第3号 15番 大泉 日出男</p>	<p>まちの価値を高める新たな競争力、成長を生み出す経済産業政策について</p>	<p>1. 新型コロナウイルスの影響により、中国からの輸入品（野菜、原材料、加工品等）を取り扱う中小零細企業の資金繰りが急速に悪化しているとの報道がなされています。当市に於いてそのような声を聴いていますか、また今後何らかの対策は考えていますか。</p> <p>2. 商業の活性化を含めて具体的にどのような競争力を検討されているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>3. 公明党では、政府と連携し、中小企業後継者の課題について、人材不足、資金不足、心配が予想される中で、円滑な継承を促す税制の創設、拡充をすすめてきており、譲渡の際には慣例として経営者に求められてきた個人保障を、不要とする予算措置を設ける事を可能としましたが、このような情報を経営者にお知らせをしていますか。またその利用進捗状況をお教え下さい。実施済であればその反応、感想をご説明お願いします。</p> <p>4. 人口減少にむけて、新しい競争力を生み出し、若い世代に希望をひらいていく必要があると考えます。次世代通信規格「5G」によって大容量の情報のやりとりができる画期的な時代が始まる中、新産業を生み出し、雇用を作り、人材を育てることにつながっていくと考えますが、吉川市内で今現在のご所見を伺いたいと存じます。</p> <p>5. 商業活性化にむけて今後、吉川市プレミアム商品券の検討と効果、導入についてお聞かせ下さい。</p> <p>6. 住宅改修費補助金について、施政方針では「補助金総額を増額する」とありましたが、現在の利用限度額より増額するという考え方でよろしいでしょうか。その際の実施期間についてもお教え下さい。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 5番 林 美希	多胎育児家庭への支援について	<p>①単胎対象で設計されている母子保健事業・子育て支援事業。妊娠・育児の負担が大きい多胎妊婦・多胎育児家庭に対して拡充していく必要があると考えるが、市の見解は。</p> <p>②多胎妊婦に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多胎児妊娠中から、多胎育児経験者との交流が必要と考えるが、市の状況は。 ・妊娠中のリスクが高い多胎妊婦に対し、妊婦健康診査助成券等の助成額を超えた分の自己負担額への助成、または助成券の追加交付が必要ではないかと考えるが、見解は。 <p>③子育て支援のうち、任意で利用できるアウトリーチ型支援（ファミリーサポート、ホームスタート、産前産後ヘルプサービス）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各アウトリーチ型支援は多胎児に対応できる体制であるか ・利用回数の上限がある事業（ホームスタート、産前産後ヘルプサービス）において、多胎育児家庭に対し、利用回数の上限を上げてはどうか。 ・利用料金が発生する事業（ファミサポ、産前産後ヘルプサービス）において、多胎育児家庭に対し、費用負担の軽減を図ってはいかがか。 ・利用料金が発生しない事業（ホームスタート）において、多胎育児家庭に対し、多胎育児経験者によるピアサポートが必要と考えるが、市の状況は。 	市長 担当部長
	減災について	<p>①風水害・震災ともに避難の定義について</p> <p>「避難とは、避難所に行くことのみを指すのではない」「安全を確保する手段を講じることである」この考えの周知が必要と考えるが、市の見解と実施状況は。</p> <p>②震災における在宅避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震発災後の避難生活を想定した共助の意識啓発を含めた「避難所運営訓練」の実施、また避難所運営マニュアル作成への継続支援を評価する。 <p>市の住戸環境を勘案し、また集団生活に困難さを覚えるご家庭やプライバシーの確保を優先する市民が存在することから、「在宅避難」の切り口による自助の意識啓発や、「在宅避難者への市の対応」について市の見解は。</p>	市長 担当部長
	公共施設の持続可能性を高め、公民連携を進めるために	<p>①法人格（民間企業のうちであれば営利、非営利）問わず、様々な団体が地域の福祉向上や魅力創出のための事業を行っている。多くの団体が利用する公民館、公園といった公共施設で団体が事業を行うにあたり、ルールを現状に合わせて整理する必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設使用の可否を法人格によって線引きすることは現状に合っていないのではと考えるが、市の見解は。 	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第4号 5番 林 美希	(続) 公共施設の持続可能性を高め、 公民連携を進めるために	・売店に類するもの（自動販売機、キッチンカー含む）により、収益が見込める事業を実施している、また実施を希望している団体が存在する。公共施設全体として、実施要件や利用料金の設定を含めた制度設計が必要と考えるが、市の見解は。	市長 担当部長
	文化芸術推進について	・団体に属さず個人で文化芸術活動を行っている市民に対し、市ができる支援はどのようなものがあるか。 ・吉川市美術展覧会、「市展」を開催してはどうかか。	市長 教育長 担当部長
通告第5号 3番 稲葉 剛治	スマートシティについて	近年、IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術の開発が進んできています。これら先端技術を産業や社会生活の様々な場面で活用する取組みが進められています。経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会「Society 5.0」（超スマート社会）が、内閣府において国が目指すべき未来社会の姿として提唱されているなど、今後、イノベーションの進展による経済社会構造の大きな変革は世界的な潮流として進んでいくと考えられます。吉川市としてもこうした取組みを進める必要があるのではないかと考えます。 1・現在吉川市のAI、ICT等先端技術やデータの活用をどのように行っているか伺います。 2・AI、ICT等の先端技術やデータの活用において民間の方との連携による社会実験を積極的に進めてはとありますが現状と見解を伺います。 3・現在、AI・ICT等先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活かし、市民サービスの提供、自治体運営に“デジタルファースト”で取り組み、全市的に推進していくというような考えがあるか伺います。また、全市的に推進していくため「デジタルファースト宣言」を発表してはと考えます。見解を伺います。	市長 担当部長
	市のブランディングの必要性について	「吉川市」というブランドが市民の方に与える印象を意識したブランディングの視点を持つことが必要であると考えます。 1・吉川市に対して、市民の方、市外の方にどのような印象を持って頂きたいと考えているか伺います。また、ブランディングの視点から取り組んでいることがあれば伺います。 2・公用車など特に「吉川市」と表記されているものの管理状況について伺います。	市長 教育長 担当部長
	東京オリンピック・パラリンピックレガシーについて	2020年東京オリンピック・パラリンピックが間近になってきていますが、吉川市としてオリンピック・パラリンピックレガシーを見据える必要があると考えます。また、オリンピックの根本的な事項を定めた『オリンピック憲章』では文化プログラムの開催が義務付けられています。文化的な視点も含め市としてオリンピック・パラリンピックレガシー	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 東京オリンピック・パラリンピックレガシーについて	<p>についてどのように捉え、今後の事業や取り組みに活かしていく考えがあるか伺います。</p> <p>1・オリンピックレガシーについて市の取り組みの中で見込んでいることがあれば伺います。</p> <p>2・パラリンピックレガシーについて市の取り組みの中で見込んでいることがあれば伺います。</p>	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第5号 3番 稲葉 剛治	投票率向上について	<p>選挙における低投票率を課題として捉え、投票率を向上させることが必要であると考えます。</p> <p>1・吉川市議会議員選挙においてどのような広報活動、啓発活動を行ったのか伺います。</p> <p>2・新たに設置された期日前投票所に関しての周知はどのように行ったのか伺います。</p> <p>3・投票方法についての改善策は図られているか伺います。</p>	市長 担当部長
	栄小・旭小学校のトイレ洋式化について	<p>栄小・旭小学校トイレの洋式化を早期に行っていただきたい。</p> <p>来年度の予算に大規模改修にかかる内容がありません。今までトイレの洋式化については大規模改修に合わせて行う方向性であるため、栄小学校、旭小学校のトイレの洋式化が来年度も進まないと理解しています。そこでトイレの洋式化について今後の考え方、見解を伺います。</p> <p>1・大規模改修を行う見込みは立っているのでしょうか。</p> <p>2・トイレの洋式化に関して、大規模改修に合わせる以外の方法を考える必要性があると考えますが、見解を伺います。</p>	市長 教育長 担当部長
通告第6号 16番 赤出川 義夫	八坂祭りについて	<p>400年の歴史を持つ吉川八坂祭りについて市の取組みを伺います。</p> <p>昨年、いちょう通りから吉川駅までの神輿競演に予算を計上頂きながらも、八坂祭り実行委員会の調整不調により、駅前開催が出来ず観光協会・保1区南東北の自治会をはじめ多くの皆様にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今年はオリンピック開催により会場警備の都合で、残念ですがいちょう通りでの神輿の競演は中止となります。</p> <p>来年に向け、吉川市民の誇りとなるお祭りにするために、吉川市民全体が参加できるような取り組みについて考えを伺います。</p>	市長 担当部長
	中川の堤防整備について	<p>中川左岸、高富1丁目から高久1丁目雨水ポンプ場付近の堤防嵩上げの完成予定を伺います。</p> <p>中川の堤防に遊歩道に花壇を作るなど、市民の憩いの場となるよう国に要望すべきと考えるがいかがか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第6号 16番 赤出川 義夫	成年後見制度について	成年後見制度の利用促進に関する法律(平成28年法律第29号)が定められているが、判断能力の不十分な高齢者や知的障がい者、精神障がい者の方などの財産や権利を守るために、市の取り組みについて伺います。 また近隣市町村の取り組み実態について伺います。	市長 担当部長
通告第7号 8番 雪田 きよみ	1. 避難対策の充実で、災害に強いまちづくりを	地球温暖化の影響を受け、豪雨災害が頻繁に繰り返されています。吉川市でも近い将来必ず大規模な災害が起きるのではないかと、多くの方が不安を抱えています。 吉川市洪水ハザードマップを見ると、中川の氾濫ではほぼ全域で浸水深3m以下の1階床上浸水、江戸川・利根川の氾濫では1階の床上浸水の地域が概ね3分の1で、3分の2の地域では5m以下の2階までの浸水、一部では5mを超えるとの予測もされています。利根川氾濫では、浸水継続時間がほぼ全域で2週間。江戸川氾濫でも1週間との予測です。 ① 万が一の大型水害の際、避難所への避難が必要と見込まれる世帯数、避難者数はどの程度と推測されますか。 ② 指定避難所は、最大何人程度収容できると見込んでいますか。 ③ 2階までの浸水被害の場合垂直避難に限界があり、避難所難民が発生するのではないかと危惧します。見解を教えてください。 ④ 各地域にあるマンションや工業・商業施設を避難所として利用させていただくような協定の締結が必要ではないかと考えます。見解を教えてください。 ⑤ 12月議会では、中曽根小学校地域自治体の防災担当者の皆さんと、避難所開設運営マニュアルを作成しているとのことでした。進捗状況を教えてください。	市長 担当部長
	2. 若い女性の命と健康・人生を大切にす市政を	乳がん検診について伺います。 ① 「高濃度乳腺」の方の乳癌が、マンモグラフィでは発見しにくいことが既に明らかになっています。市は、受診者の高濃度乳腺の有無について結果を把握しているものの通知していないと12月議会で答弁されました。その理由について、考え方を教えてください。 ② 乳がんで亡くなる女性を減らすためには、早期発見早期治療が欠かせません。乳がんは1cm大まで成長するのに10年以上かかりますが、1cmから2cmに成長するのに2年もかかりません。乳がんの発生は40歳代後半～50歳代前半でピークと言われていますが、30代から既にがんの形成が始まっているケースも少なくないと考えられます。乳がん検診は30歳から実施するべきだと考えます。見解をお聞かせください。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第7号 8番 雪田 きよみ</p>	<p>3. 「全世代型社会保障」で、市民生活は守られるのか</p>	<p>安倍首相は昨年「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げ、社会保障全般にわたる改革に向けた議論が進められています。その内容は、年金の大幅削減、医療・介護の負担増と給付削減、保育予算の削減など、全世代の社会保障が削られる方向です。検討会議のメンバーには、医療・介護現場の代表、患者・利用者・受益者代表、労働界の代表が一人も入っていません。現場や国民生活の実態を配慮しない社会保障の削減が進められるのではないかと、不安が広がっています。</p> <p>市民生活を守る最後の砦は、地方自治体だと考えます。市が医療・介護現場や市民生活の実態を把握し、国に伝えていくべきだと考えています。見解をお聞かせください。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>1. 越谷吉川線に手押し信号機の早期設置を</p>	<p>中央中学校南側、栄町 1327 地先の越谷吉川線に横断歩道と信号機の設置が計画をされていますが、開通後 2 年近く経過した今も封鎖されたままになっています。</p> <p>市民の方からは、「なぜいまだ信号機が付かないのか」「整骨院に行くにも大変だ」と強い声が寄せられています。市も吉川警察に信号機設置を要望しているとのことですが、現状の認識と今後の信号機設置の見通しについて伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第8号 7番 飯島 正義</p>	<p>2. 三輪野江産業振興地域に於ける資材置場の問題</p>	<p>三輪野江地域に於いては、近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。</p> <p>① 資材置場の件数と業種・面積・産業廃棄物の扱いの有無を伺います。</p> <p>② 2019年12月31日から2020年1月1日未明まで発生した三輪野江3929地先で発生火災の原因について伺います。</p> <p>③ 三輪野江2351番地の資材置場に於いて鉄筋、鉄骨の切断及び運搬がされています。忙しい時には、早朝から深夜2時頃までの操業による騒音被害が起きています。市の対応経過と今後の方向性について伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 補聴器購入の公的支援で高齢者のいきいきした生活の保障を</p>	<p>補聴器の公的支援が広がっています。高齢者の難聴により社会からの隔絶、食事機能の低下、体力低下などを招き、要介護状態を引き起こしやすいと言われてしています。</p> <p>「補聴器が高い」「聞こえにくいとでかけるのもおっくう」「電池代もばかにならない」との声が寄せられています。補聴器の購入費、交換電池代への公的助成が必要と考えます。見解を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>4. 選挙の投票率を上げるには</p>	<p>今回はじめて選挙をされる側の立場に立ち、投票率の低さに改めて驚きました。</p> <p>39.28%という投票率、前回選挙よりも更に低下している事実についてどのように考えていますか。選挙に興味をもってもらうためにどうすれば良いと考えていますか。見解を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第9号 11番 伊藤 正勝</p>		<p>令和の時代も2年目に入りました。元号が変わり吉川では市議会の議員選挙も行われました。新たな気持ちで山積みの課題に向き合い、責任をもって取り組む、その思いをかみしめています。質問の柱はもっと「今」に目を注ぐ。今やるべきこと、今できること。人々は何を求めているか、何を必要としているか。そのことを念頭に質問を重ねます。</p>	
	<p>「今」に注力を 足場を固めて— (コロナ感染症について)</p> <p>(減災対策について)</p> <p>(会計年度任用職員の活用について)</p> <p>(変わる教育現場への対応について)</p>	<p>1. 新型肺炎、コロナ感染症対策について。質問①この感染症をどう受け止め対策を講じているか。どう備えているか。②幼児、児童、生徒。老人ホームなどの実状は。③マスクや消毒液等品不足の実状は。市の対応と取り組みは。④教育現場や商、工業等への影響や市民マラソン等イベント中止の影響や反応は。⑤関連してインフルエンザの状況も。</p> <p>2. 減災・防災対策について。地震・風水害・火災。いずれも日常の備えが大切です。自助・共助・公助。それぞれの役割と自覚が求められています。質問①先の19号台風では799人の市民が避難、眠れぬ夜を過ごしました。この時の教訓は何か。今後にどのように生かすのか。伺います。②減災・防災対策は地域の状況に応じた取り組みが大切です。栄地区の防災地区計画の進展とその内容。今後の取組み、他の地区についての計画はありますか。③市の防災対策本部について伺います。19号台風での職員動員の実状。動員数とその役割について伺います。教訓や反省点は如何ですか。関連して休日夜間の緊急時の職員動員体制の内容について。市内居住の職員の数と割合。④会計年度任用職員の活用は考えていますか。</p> <p>3. この4月から非正規職員は会計年度任用職員になります。地方公務員法が適用され、若干の処遇改善とともに法律の順守も規定。これまで物件費扱いの臨時職員も全員が“地方公務員”になります。この任命権者は市長。この事態をどう受け止めていますか。376人の有期雇用者をどう活用するのか。採用のあり方。研修や配置等を含め見解を伺います。</p> <p>4. 学習指導要領の大幅な変更。語学やプログラミング思考・教育。道徳、クラブ活動への対応や教職員の働き方改革、負担軽減。教育現場も大きく変わります。質問①教職員の研修や機材の整備などは吉川市が先行して充実してもと考えますが、見解を伺います。②小中の一貫教育の狙い、進め方、今後の充実策は。関連してスクールバスの運行の考えは。遠距離通学の児童の安全に問題はありませんか。③運動能力の低下が指摘されています。吉川の実状と対応策についても伺います。④吉川独自のこころざし教育について。「独自」の内容と今後の取組みを伺います。⑤栄小などトイレが臭いとの声。早急</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第9号 11番 伊藤 正勝	(続) (変わる教育現場への対応について)	に対応すべきです。この問題、どう受けとめ対処しますか。いずれも教育長に答弁をお願いします。	
	市民参画と共働・協働 (吉川運動公園の拡充、整備について) (東口開発の駅前文化・公共施設について) (各種の検討会等にも工夫を)	市民の参画と共働・協働の取組みが大切です。今回は2つのテーマについて提案を交え質問します。 まず①市民に身近な庁舎前の吉川運動公園についてです。グラウンドの整備。草刈りや人工芝等、関係者の要望や意見を聞いて整備しては。多目的に、フルに活用できるように。テニスコートも利用者の意見を受けて、公式の試合ができるように整備しては。大場川の改修も念頭に。新庁舎やおあしすの市民利用もさらに工夫。スポーツと文化、市民の憩いと賑わいの核となるエリアにしたいですね。最小の費用で大きな効果が期待できる取り組みにしてください。 ②東口開発の駅前文化・公共施設整備について。何を目指し何をどう配置するのか。経費や利用も考え、国や県、関係機関との連携。越谷・三郷、武蔵野線沿線等近隣の動向や状況への目配り。幅広い見識が必要です。まず庁内協議の内容について伺います。検討会のテーマ。メンバーや手順にも一段の工夫を凝らす必要があります。このメンバーに南越谷の複合施設「越谷サンシティ」の再開発で座長をつとめた有識者を加える等多角的な検討の場にする必要があるとは思いますが如何ですか。 ③第6次総合振興計画や第8次介護・福祉計画の策定。市民プールの休業と今後の方策。自治会の活性化や認知症フレイル対策等高齢者の問題等、市民の参画と共働・協働が一層求められると思います。 市民参画や共働・協働について新たな発想をと願いますが見解を伺います。市長キャラバンやランチミーティングはマンネリ化しているように見受けまます。休日に市長以下9人の職員で一般市民9人と対話。この費用と効果。検証し見直す必要があります。ご見解を伺っておきます。	市長 教育長 担当部長
通告第10号 2番 稲垣 茂行	【市政運営】 「まちづくり」に対する基本的姿勢・手法について	「中原市政」6年目を迎えます。 市長就任時の熱い「期待」は、戸惑いから不安へ、そして今、失望から危機的状況へと変わっています。 中原市長の「まちづくり」に対する基本的姿勢・手法は、市民不在、議会軽視の「独断先行」が目立つ行政運営だと感じます。	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第10号 2番 稲垣 茂行</p>	<p>(続) 【市政運営】 「まちづくり」に対する基本的 姿勢・手法について</p>	<p>吉川市の将来について、心配を抱かずにはいられません。 議会ではこれまでの5年間、市の政策や事業について、多角的に検討するとともに提言・提案を行って参りました。 「おあしす改修計画・は一とふるぽっと跡の利活用」、「旧庁舎の解体と杭抜き」、吉川美南東口開発「保留地処分計画・ガラ混入搬入土・事業用地の一部売却」、また「志教育の導入」、「演劇の旗手事業化」等ですが、市長は市民、議会の声に耳を傾けることなく進めてきました。 さらに、自身のリーフレットやSNSで議員の個人名を挙げて、悪意に満ちた誹謗中傷の侮辱的発信を行いました。 先の市議会議員選挙を意識した行動と考えられますが、選挙結果は自民5・市民の会4・公明3・共産3・未来会議3・無所属2の議会構成となりました。 必ずしも市長が描く形にはならなかったと思います。 そこで、改めて市長の現状認識と今後の市政運営（まちづくり）についての基本的考え方について質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 先の市議会議員選挙の結果をどう受け止めたのか。 2 二代表制をどう理解されているのか。今後、「議会」とどう向き合っていくのか。 3 市民参画、意見の収集、情報の提供、協働についての考えは。 4 職員の「育成」と組織の「活性化」をどう進めていくのか。 5 市長の役割とリーダーシップについての認識。これまでを振り返り、ご自身をどのように評価されているのか。 	<p>市長</p>
<p>通告第11号 6番 遠藤 義法</p>	<p>1. 豪雨災害や地震に対する総合的な施策は</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1、「総合的な治水対策について改めて検討を行う」としてありますが、吉川駅前の治水対策はどのように考えているのか。中川の河川改修、水底を掃うことで貯水能力はどれだけ増えるのか。共保のポンプ場は現在毎時何トンで、駅前冠水対策として今後の必要排水能力はいくらか。他の貯留施設実施の考えは。 2、江戸川河川防災ステーション内に市の学習センター、避難所等を建設する計画ですが、その構想や面積、スケジュール等を明らかにしていただきたい。 3、非耐震の家屋が多く残されています。目標に見合った耐震化の今後の取り組みは。 	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 6番 遠藤 義法	2. 市の役割である公共交通の充実を	1、市民の外出支援を求める声が多い。市街地や市街化調整区域に関わらず、全市を網羅した公共交通施策を早急に検討して実施すべきであると考えます。市の見解を求めます。 2、東部7市町で設立した「新たなモビリティサービスによる『まち』づくり協議会」は何を目指し、市は何を期待するのか。	市長 担当部長
	3. 公費負担を増やし、国保税引き下げを	国民健康保険税が高すぎて払いきれないとの声が多くあります。 次の点について伺います。 1. 公的医療保険と比較して国保加入者の所得は低いですが保険税は一番高く、滞納者が多いといわれていますが、実態は。 2. 県と市の共同運営が3年目に入っていますが、市の独自運営時と財政的に変わった点は。 3. 医療費適正化対策実施で事業はどのように変わったか。 4. 全国知事会などは、協会けんぽ並みに国保税を引き下げるために公費負担の増額を求めています。市の見解と国・県への要望の取り組みは。子どもの均等割軽減の考えは。 5. 県内市町村の保険税を統一するための協議は進んでいるのか。「法定外繰入」を解消すべき「赤字」として、繰り入れを行わないことを前提にしています。23年度まで50%削減する計画ですが、国保税の引き上げにつながらないか。課税限度額の考え方は。	市長 担当部長
	4. 公立学校の変形労働時間制導入は適正か	公立学校に「1年単位の変形労働時間制」の導入を可能とする法案が成立しました。この制度についての教育長の認識と今後の取り扱いについての考え方をまず伺います。 教職員の労働時間や児童生徒に向き合う時間確保を問題視するのであれば、まず市や教育委員会が詳細な勤務実態調査を実施すること。授業準備も労働であることを認識し、定時に授業準備をする時間が確保されるようにすること。必要な教職員の増員を確保することが必要と考えますが、市の見解は。	市長 教育長 担当部長
通告第12号 9番 成本 直寛	吉川市タクシー助成券について	吉川市タクシー助成券の交付により、公共交通機関の空白地域となっている方々にも移動手段の提供ができていますが、対象地域が定まっていることにより日常の移動手段の確保が困難な他地区の方が申請できない現状があります。 この現状を是正するために以下の3点について伺います。 ①吉川市タクシー助成券の交付対象地域および支給額の策定理由 ②現在の申請状況 ③対象地域の拡大についての検討状況	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第12号 9番 成本 直寛	自動体外式除細動器(AED)の設置施設について	<p>吉川市の公式ホームページによると、現在、42の施設に自動体外式除細動器(以下AED)が設置されているとありますが、日常的に屋外スポーツが行われている多目的広場がある美南中央公園や中曽根公園等に設置されておりません。</p> <p>スポーツの現場へのAEDの設置が進んでいる他の自治体もあります。吉川市においてもスポーツ現場の安全性を高めるために設置をしていくべきではないかと考えます。市のお考えをお伺いいたします。</p>	市長 担当部長
	吉川中学校通学路の信号機設置	<p>4月に吉川中学校が開校となりますが、中曽根小学校区から通学する生徒たちは交通量の激しい葛飾吉川松伏線を横断しなければならず、安全性確保の観点から美南五丁目公園付近に新たに信号機を設置してほしいとの要望が数多く寄せられています。</p> <p>それらの要望に対し、市はどのような対応をなされているのでしょうか。</p>	市長 担当部長
	美南地区に市民サービスセンターの設置	<p>現在、吉川市には3つの市民サービスセンターが設置されておりますが、美南地区は市民サービスセンターの空白地域となっており、追加設置が必要ではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>① 現在設置されている市民サービスセンターの利用状況。</p> <p>② 児童館ワンダーランド等の既存公共施設内に市民サービスセンターを設置することは可能か。</p>	市長 担当部長
通告第13号 17番 吉川 敏幸	1. 地域活性化について	<p>(1) ジャズナイトへの支援について</p> <p>① 今議会において、文化芸術振興基金条例が上程された。地域活性化、また、芸術振興として、この基金を活用することについてどうお考えかお伺いいたします。</p> <p>(2) 「なまず御膳」の普及促進について</p> <p>① 吉川産米を使ってできた「なまず御膳」の普及促進を図り、地域の活性化を目指すため、乾杯条例を策定するお考えはありますでしょうか。</p> <p>② 吉川駅前にて市の特産品を販売しているラッピーランドで「なまず御膳」を販売してはどうか。</p> <p>(3) 地域通貨の導入について</p> <p>① 市民参加のまちづくり、市内での消費拡大、つまり、地域経済活性化のため、電子地域通貨の導入を検討されてはどうか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第13号 17番 吉川 敏幸	選挙と議会の役割について	(1) より民意を反映した選挙にするために ① 去る1月26日、吉川市議会議員選挙が執行された。投票率は40%を下回った。より民意を反映させるためには、投票率の向上が不可欠である。投票に行きたいけど、交通弱者であるため投票に行けない方々の民意を反映させるために、市はどうお考えか。 (2) 二元代表制としての議会の役割について ① 二元代表制としての議会には様々な権限がありますが、議案等の議決権、そして、執行機関を監視し、公正、適正に行政が行われているかチェックするという役割があると考えますが、市の見解を伺います。	市長 担当部長
	吉川運動公園内(調節池)の利便性改善について	(1) トイレの設置について ① 老若男女問わず、多くの市民が活用する吉川運動公園。トイレの設置要望が多数あります。調節池ということは承知しておりますが、トイレの設置が利便性向上のため必要と考えるが、市の見解を伺います。 ② 野球やソフトボールのピッチング練習用のコンクリート壁等の設置についてはいかがか。	市長 担当部長
	災害に強いまちづくりについて	(1) 戸別受信機の設置について ① 埼玉県加須市は昨年12月議会で、災害時に避難指示などの情報が確実に届けられるよう4億7千万円の予算をかけて、全世帯(4万7千戸)に戸別受信機の無償貸与を決定いたしました。当市においても、救える命は必ず救うという気概を持って災害弱者を中心に戸別受信機の配備を進めるべきと考えるが、市の見解を伺います。	市長 担当部長
通告第14号 1番 岩田 京子	ケアラーを一人にさせない地域支援を	埼玉県議会2月定例会において、全国に先駆け「埼玉県ケアラー支援条例」が議員提案されているところですが、吉川市におけるケアラー支援についてお尋ねします。 ① 介護者のつどいの開催状況、課題、今後の予定。 ② 介護者のつどいに対して市が行ってきたこと。 ③ 特にヤングケアラーやダブルケアラーなど苦境に置かれた方々の状況把握が必要だが、どのように考えているのか。 ④ ヤングケアラーに対する支援について。 ⑤ ケアラーに対する理解の醸成を図るための研修会開催について。 ⑥ ケアラーの支援者育成のための介護者支援セミナーの開催について。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第14号 1番 岩田 京子</p>	<p>SDG s の達成に向け具体的 取り組みへ</p>	<p>今回はSDG s の土台ともいえる「生物圏(目標 6、13、14、15、)」と、SDG s の軸となる「実施手段の強化とパートナーシップ(目標 17)」に的を絞ってお尋ねします。</p> <p>① 吉川市でも令和2年度当初予算編成方針において、SDG s の視点を踏まえた取り組みの検討をされたということですが、具体的に反映されているところ、強化されているところ、パートナーシップでの取り組みについてお聞かせください。</p> <p>② 吉川市SDG s 推進検討委員会での取り組み状況。</p> <p>③ 目標13「気候変動に具体的な対策を」のための吉川市の取り組みは。</p> <p>④ 温暖化対策について、吉川市は今後どうすべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしませんか。</p> <p>⑤ 目標14「海の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。</p> <p>⑥ 様々な課題の1つにマイクロプラスチックの問題がクローズアップされていますが、吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。</p> <p>⑦ 目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。</p> <p>⑧ 「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。</p> <p>⑨ 目標6「安全な水」のための取り組みについて、吉川市はどのように考えているのか。市内の小中学校で環境にやさしい洗剤剤を利用しているところですが、市民へ向けた啓発など、次のステップは。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>